**第2学年1組　国語科学習指導案**

**1.単元名・教材名**　　知っていることとつなげて読もう　「おにごっこ」

**2.単元の目標**

(1)身近な遊びを説明した文章を自分の経験と結び付けて読む。(読むこと)

(2)文章の中の大事なことを読み取ることができる。(読むこと)

**3.本時の学習指導**　(本時2／9時)

(1)目標

　○文章の中から、大事なことを読み取ることができる。(読むこと)

(2)展開

|  |  |
| --- | --- |
| 前時の学習内容 | ○自分の経験を思い浮かべながら文章を読む。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 1.前時の学習を振り返る。  2.本時の学習課題をつかむ。  3.第一･二段落を音読し、各段落を“はじめ”と“なか”に当てはめる。  4.第二段落を読み、遊び方とその面白さをまとめ、発表する。  5.見つけた遊び方について考えたことを発表する。  6.見通しを持つ | ・前時の学習内容の振り返り  ・本時の学習課題  「おにごっこ」を読んで、おにごっこのあそび方とその理ゆうを見つけよう。  ・音読の工夫  ・場面の整理  ・内容の把握  ・発表の仕方  ・次時への見通し | ○前時の内容を振り返り、鬼ごっこには様々な工夫があったことを確認し、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。  ○前時より、更に詳しく本文を読むことを伝え、本時への期待感を抱けるようにする。  ○段落を確認する。  ○学習範囲を指定することで、見通しを立てられるようにする。  ○88ページを確認し、段落で役割が異なることに気づくようにする。  ○「初め」(第一段落)に二つの問いがあることを伝え、文末表現に注目して、気づくことができるようにする。  ○「どんなあそび方があるのでしょう。」に対応する遊び方を第二段落から見つけられるようにする。  ○「なぜ、そのようなあそび方をするのでしょう。」に対応する、遊び方の理由を第二段落から見つけられるようにする。  ○「みんなは普段、“逃げてはいけないところ”を決めて遊ぶことはあるかな」「このルールについてどう思う？」と尋ね、自分の知っている遊び方と照らし合わせるようにする。  ○発表時の留意点を確認し、学級全体に意見を発表できるようにする。  ○本文に他にも遊び方が書かれていることを伝え、次時への見通しを持てるようにする。 | 5’  5’  10’  12’  10’  3’ |

**4.備考**在籍児童数 35名

**5.板書計画**

「おにごっこ」を読んで、おにごっこのあそび方を見つけよう。

一月十九日（金）

　○どんなあそび方があるのでしょう。

　・にげてはいけないところをきめる。

　◯なぜ、そのようなあそび方を

するのでしょう。

・おにがつかまえるのがたいへんだから。

○考えたこと